



特別優秀作品者に贈呈

11月号 規定硬筆特別優秀表彰作品

幼児(7級上)
かたちとせんを、よくとらえてかいている
湯本 結珠

もみじ

小一(6級下)
鉛筆使い、かたち、特に結びすばらしい
沖野 凜

なります。チャイムが

小二(3級下)
まよいのない線で特にほらうつくしい
小出愛葉美

もみじの山
を見上げた。

小三(7級下)
字形・漢字とかなのバランスよい作品
丸山雄太郎

いちよの葉が
黄色にかわりまし
た。

小四(3級中)
丁寧な用筆で字形整い、中心も通り優秀
早川 珠俐

新聞を切りぬい
て、ノートにま
めました。

小五(特級中)
ひらがなの字形優秀。漢字も線の方向安定
福田 歩未

クラブ活動にも
慣れてきた。率先
して取り組もう。

小六(準優級中)
さえた線がきれいで、全体の収まりもよい
門目 夕稀

思いやりのある温かい
言葉は、多くの人に希望
をあたえる。

中一(優級下)
許容の書き方よく、線質もきれいな優秀作
岩橋 彩夏

思ひつつ
寝ればや人の見えつらむ
夢と知りせば
覚めざらましを

中二(特級下)
筆脈通り漢字と仮名の大小調和し美しい
瀧野々花

思ひつつ寝ればや
人の見えつらむ
夢と知りせば
覚めざらましを

中三(準秀級中)
字形整い筆圧の変化あり。調和の良い秀作
滝沢 美羽

思ひつつ寝ればや
人の見えつらむ
夢と知りせば
覚めざらましを

楷書と仮名(八段)
筆圧表現群を抜き氏名まで一貫し字形整齊
小川 瑠美

ゆく秋の
大和の国の薬師寺の
塔の上なる一ひらの雲
瑠美書

行草と仮名(八段)
運筆、行の流れが美しく、構成字形も秀逸
櫻井 雅子

ゆく秋の
大和の国の薬師寺の
塔の上なる
一ひらの雲